

令和5年分給与所得者の保険料控除申告書

所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)	※この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます)が記載してください。	(フリガナ) あなたの氏名
税務署長	給与の支払者の法人番号		あなたの住所 又は居所
	給与の支払者の所在地(住所)		

二次元
コード



保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間 又は年金 支払期間	保険等の 契約者の氏名	保険金等の受取人		新・旧の 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額(分配を受け た 剰余金等の控除後の金額) (a)	給与の 支払者の 確認印	
				氏名	あなた との 続柄				
一般の 生命保険料						旧	(a)		
						新	(a)		
						旧	(a)		
							(a)		
(a)のうち 新保険料 等の金額の合計額		A	0	Aの金額を下 計算式I(新保険 料等用) に当てはめて計算した金額	①	(最高40,000円)	計(①+②)	③ (最高40,000円)	0
(a)のうち 旧保険料 等の金額の合計額		B	0	Bの金額を下 計算式II(旧保険 料等用) に当てはめて計算した金額	②	(最高50,000円)	②と③のいずれか 大きい金額	④	0
介護医療 保険料							(a)		
							(a)		
							(a)		
	(a)の金額の合計額		C	0	Cの金額を下 計算式I(新保険 料等用) に当てはめて計算した金額	⑤	(最高40,000円)		⑥
個人年金 保険料						旧	(a)		
						旧	(a)		
							(a)		
	(a)のうち 新保険料 等の金額の合計額		D	0	Dの金額を下 計算式I(新保険 料等用) に当てはめて計算した金額	④	(最高40,000円)	計(④+⑤)	⑥ (最高40,000円)
(a)のうち 旧保険料 等の金額の合計額		E	0	Eの金額を下 計算式II(旧保険 料等用) に当てはめて計算した金額	⑤	(最高50,000円)	⑤と⑥のいずれか 大きい金額	⑦	0
計算式I(新保険料等用)※				計算式II(旧保険料等用)※				生命保険料控除額 計(①+②+③) (最高120,000円)	
A,C又はDの金額	控除額の計算式			B又はEの金額	控除額の計算式				
20,000円以下	A,C又はDの全額			25,000円以下	B又はEの全額				
20,001円から40,000円まで	A,C又はD×1/2+10,000円			25,001円から50,000円まで	B又はE×1/2+12,500円				
40,001円から80,000円まで	A,C又はD×1/4+20,000円			50,001円から100,000円まで	B又はE×1/4+25,000円				
80,001円以上	一律に40,000円			100,001円以上	一律に50,000円			0	

保険会社等の 名称	保険等の 種類(目的)	保険 期間	保険等の契約者の氏名		地震保険 料又は旧 長期損害 保険料の 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区 分に係る金額(分配を受けた 剰余金等の控除後の金額)A	給与の 支払者の 確認印
			保険等の対象となった家 屋等に居住又は家財を利 用している者等の氏名	あなた との 続柄			
					地震		
					旧長期		
Aのうち地震保険料の金額の合計額						B	0
Aのうち旧長期損害保険料の金額の合計額						C	0
地震保険 料 控除額	[Bの金額 (最高50,000円)] + [Cの金額(Cの金額が10,000円を超 える場合は、C×1/2+5,000円)※ (最高15,000円)]					(最高50,000円)	0

社会保険 の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に 支払った保険料の金額
		氏名	あなた との 続柄	
合計(控除額)				0

種類	あなたが本年中に支払 った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計(控除額)	0

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。